

平成26年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立池田高等学校

学校番号	20
------	----

I 自己評価

1 学校教育目標	校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、現代社会に貢献できる人間の育成に努める。	
2 評価する領域・分野	◇研修	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<p>保護者・学校評議員対象のアンケート結果では、授業公開、保護者との連携、教育相談体制、少人数指導における個に応じた指導など、学校教育活動全般に対する肯定的な評価の平均は過去3年間80%弱で推移しており、おおむね肯定的に評価されている。</p> <p>しかし、保護者の「授業を通して一人一人の能力に応じた指導を行っている」の肯定的評価が73.3%であることや、生徒の授業満足度が教科によってバラツキがあるなど、改善の余地がある。</p>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇全職員が授業改善に取り組み教科指導力の向上を図る。また、いじめや不登校等に対する理解や対応能力の向上に努める。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> • 企画委員会、生徒指導委員会、人権教育委員会 • 分掌会、教科会、学年会 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<p>(1) 授業公開の積極的な実施と教員による相互評価、管理職による授業参観と指導・助言、自己啓発面談。</p> <p>(2) いじめの早期発見・早期対応、思春期の子どもの発達課題に対する理解を深め、対応の在り方を学ぶ機会を設ける。</p>	<p>(1) 生徒及び保護者等を対象とするアンケート結果、教員の相互評価、生徒対象の授業アンケート（満足度調査）結果</p> <p>(2) 生徒対象の生活アンケート（迷惑調査）結果、生徒対象のM2-DV（生徒自己理解調査）結果</p>	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> • 1年間に2回、外部に対する授業公開の期間を設け、授業のねらいを示した上で、教職員が互いに授業参観と評価を行った。 • 揖斐郡内の中学校の研究授業を参観し中学と高校の接続を意識した指導法の改善に努めた。 • 管理職による授業参観、自己啓発面談を通して学校課題や自らの課題を明確にした。 • 問題行動や生徒に関わる教員間の情報共有を図るとともに、発達障害に関する職員研修会を実施し、その対応方法を研修した。 	<p>①教科の枠を越えた授業参観及び相互評価を通して、授業力が向上できたか。</p> <p>②いじめ・不登校等に対する理解を深め、それらに対応する方法を学び実践することができたか。</p>	<p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p>
11 成果・課題	<p>○教科指導に関する研修や生徒理解に関する研修を実施することができた。</p> <p>○今年度新たにいじめ等に関する対策委員会を設置し、保護者へのメールアンケート等も新たに実施し、生徒の状況を分析することができた。</p> <p>▲コミュニケーション能力の育成やE S Dに関わる探究的な学びを進めるためには、新しい教材の開発やP C等の機器の活用、生徒の主体的な学習活動を促す授業展開の工夫が必要。</p> <p>▲生徒の実態把握に関して、アンケート等には現れてこない問題等があるため、常にアンテナを高くして生徒情報の把握に努める必要がある。</p>	
	総合評価	
	A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/>	

12 来年度に向けての改善方策案

- ESDの推進とアクティブラーニングの実践のため、複数教員を他県の先進事例の視察に派遣し、職員会で報告する他、外部人材を有効に活用し、様々な教材や教育手法を積極的に取り込んでいく。
- いじめの予兆等の把握の有効な方策の検討、職員間の情報共有の仕組み、問題が起こった場合の速やかな対策チームの設置など。

II 学校関係者評価

実施年月日：平成27年2月12日

【意見・要望・評価等】

- 先生方による教科を超えた授業参観・評価、公開授業週間はぜひとも続けてほしい。また、研修、他校視察によって外部からの視点を取り入れることで、教職員が自ら高めあえるような職場の雰囲気を作っていってほしい。
- 授業参観の際、授業に向かう態度が気になる生徒が見受けられた。その場でどう指導していくかが、大切であると考えます。